

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会  
社会・地理歴史・公民ワーキンググループ

2016年1月25日

(於 中央合同庁舎7号館東館 文部科学省3階)



平成28年1月25日  
教育課程部会  
社会・地理歴史・公民  
ワーキンググループ  
資料5

# 研究開発学校制度 「地理基礎」「歴史基礎」の開発・実践

神戸大学附属中等教育学校

高木 優

はじめに



## 研究開発学校制度

新しい教育課程や指導方法の  
開発

学習指導要領等の国の基準に  
よらない教育課程の編成・実施

研究開発学校関係資料（文部科学省初等中等教育局教育課程課, 2013）

はじめに



**京都府立西乙訓高等学校**

**(平成22年度～平成24年度)**

**日本橋女学館高等学校**

**(平成23年度～平成25年度)**

**神戸大学附属中等教育学校**

**(平成25年度～平成28年度)**

はじめに

## 研究開発課題

グローバル人材育成に向けて、  
地理歴史科を再編成して「**地理基礎**」「**歴史基礎**」(必修科目)を設置し、  
中高一貫教育課程に位置付けながら、その学習内容と方法、評価について研究開発を行う。

・ 「地理基礎」  
「歴史基礎」について

「地理基礎」

現代の世界的課題や身近な地域的課題に興味を持てるような主題学習のために、ロジカルとリージョナルなアプローチで学習内容及び学習活動の両面で相互に関連付けて学習する「**主題的相互展開学習**」(2単位科目)。

・ 「地理基礎」  
「歴史基礎」について

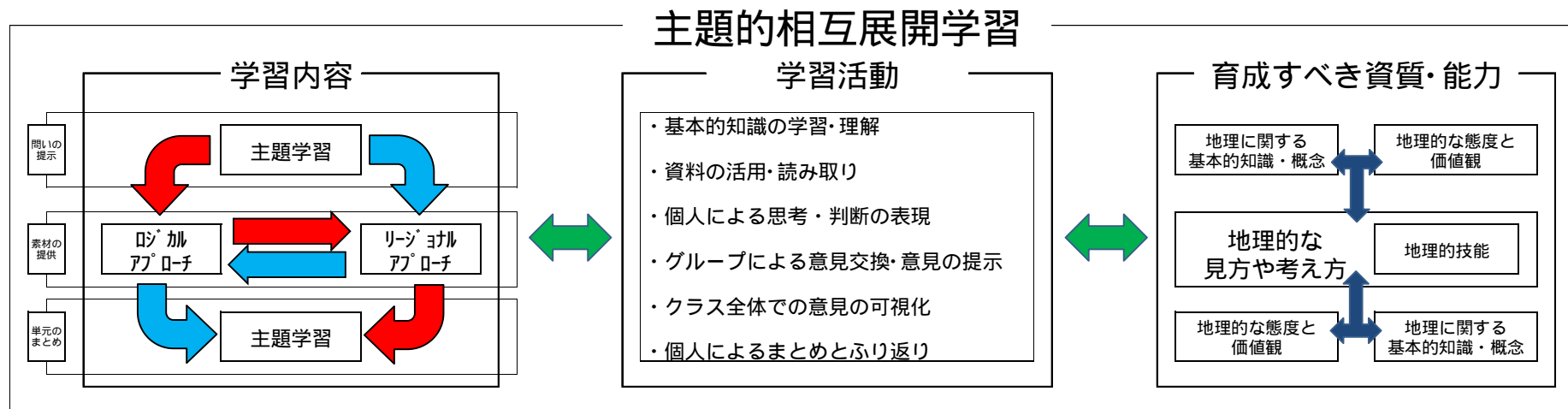
## 「歴史基礎」

世界史と日本史の関連付けを超えた「融合」的学習を追求し、単元全体を概括する「主題学習」を設け、多様な位相による「**主題的単元史学習**」(2**単位科目**)を行い、「**見方や考え方**」の育成を図る。

# 「地理基礎」

# 「歴史基礎」について

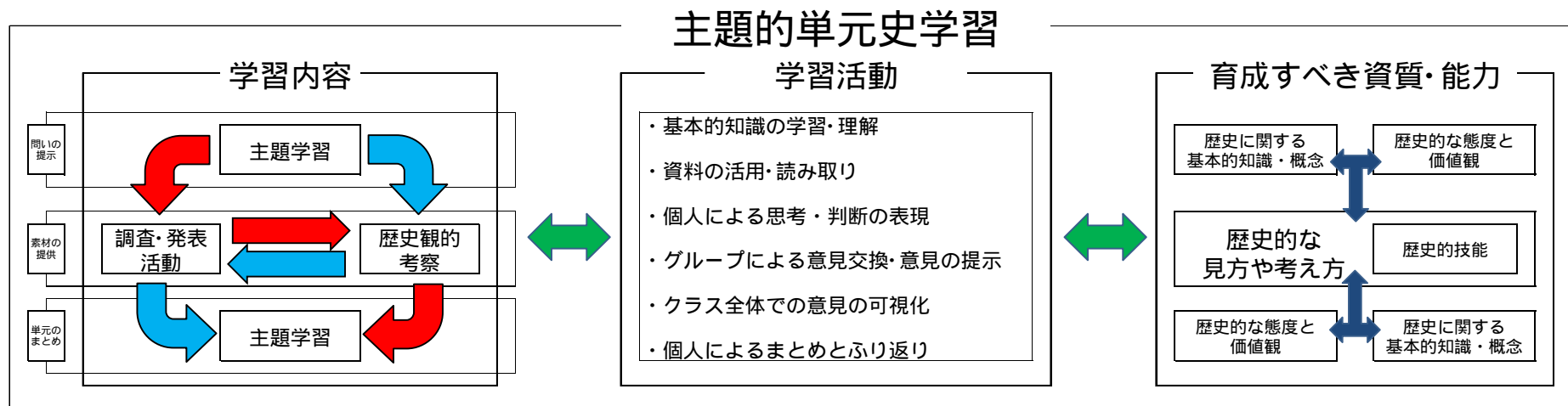
## 「地理基礎」イメージ図



「地理基礎」

「歴史基礎」について

# 「歴史基礎」イメージ図





・ 学習活動



グループ学習

# ・ 学習活動



## グループ学習(T字型の机配置)

# ・ 学習活動

グループ学習(4人1組・役割分担)

# ・ 学習活動

## グループ学習(前半)

# ・ 学習活動

## グループ学習(中盤)

# ・ 学習活動

## グループ学習(後半)

# ・ 学習活動



グループ学習(個人 集団 個人)

# ・ 学習活動



グループ学習(個人 集団 個人)



・ 学習活動



直交座標系シンキングツール

# ・ 学習活動



## ホワイトボードと付箋

# 「地理基礎」 「歴史基礎」について



## 「地理基礎」の目標

現代世界の地理的な特質並びに地表面に展開する諸事象や課題について、人間と自然環境並びに社会環境との関係及び空間的・歴史的な地域の変容とを関連付けながら考察する力を高めるとともに、地理的な見方や考え方を培い、持続可能で活力ある世界の構築に主体的に寄与できる有為な国民としての自覚と資質を養う。

高等学校地理歴史科「地理基礎」「歴史基礎」実施報告書  
(神戸大学附属中等教育学校, 2016)

・ 「地理基礎」  
「歴史基礎」について



## 「地理基礎」の育成すべき資質・能力

ア 地理的な見方や考え方

イ 地理的な態度と価値観

ウ 地理的技能

エ 地理に関する基本的知識・概念

・ 「地理基礎」  
「歴史基礎」について

## 「地理基礎」の学習内容

### (1) 地球社会が直面する課題

- ア 地球温暖化の現状と対策
- イ 熱帯林の破壊が進んでいる地域の人間の活動
- ウ 砂漠化の進行している地域の人間の活動

### (2) 持続可能な世界の構築

- ア 現地化(ローカル化)の視点とグローバル化
- イ 地域共同体と持続可能な社会の実現
- ウ 防災の視点と持続可能な世界の構築

# 「地理基礎」

# 「歴史基礎」について



主題学習		ロジカルアプローチ・リージョナルアプローチ	
地球社会が直面する課題	ア 地球温暖化の現状と対策	ESD・GIS	中心概念 位置と分布, 場所
	地球環境問題 地球温暖化 地球温暖化の現状はどのようになっているのだろうか	↔	地図と地理情報システム(GIS)の活用 ロ 地球社会はどのように表現されているのだろうか ジ プレートテクトニクスと大地形 カ なぜ地球は現在のような姿になったのだろうか ル 大気の大循環と海洋の大循環 気候の違いはなぜ生まれるのだろうか
	イ 熱帯林の破壊が進んでいる地域の人間の活動	ESD	中心概念 人間と自然環境との相互依存関係
	地球環境問題 熱帯林の破壊 熱帯林などの森林の破壊はなぜ進んでいるのだろうか	↔	ロ 熱帯林の分布 カ 熱帯雨林はどこに分布するのだろうか リ 熱帯林の開発～東南アジアを事例に～ ナ なぜ東南アジア諸国で主に信仰されている宗教は違うのだろうか ジ 熱帯林の開発～ブラジルを事例に～ ナ 南アメリカの地域性はどのように生まれたのだろうか ル なぜブラジルは発展することができたのだろうか
	ウ 砂漠化の進行している地域の人間の活動	ESD	中心概念 人間と自然環境との相互依存関係
	地球環境問題 砂漠化の進行 砂漠化はなぜ進んでいるのだろうか エネルギー問題 限りある資源・エネルギー 資源の枯渇に対してどのような対策が取られているのだろうか	↔	ロ 砂漠の分布 カ 砂漠はどこに分布するのだろうか リ 砂漠での生活と開発～西・中央アジアを事例に～ ナ 西・中央アジアの地域性はどのように生まれたのだろうか ジ 石油収入以外にどのような産業があるのだろうか ナ エネルギー資源の開発～オーストラリアを事例に～ ル オーストラリアから日本へ運ばれているものは資源だけだろうか

# 「地理基礎」 「歴史基礎」について



## 「歴史基礎」の目標

世界と日本の歴史的展開について、諸資料に基づき、  
地理的条件と関連付けながら一体的に理解させるととも  
に、現代世界の諸課題につながる歴史的事象を長  
期的視点から考察させることによって、歴史的な見方  
や考え方を培い、伝統的文化をふまえつつ持続可能  
で活力ある世界の構築に主体的に寄与できる有為な  
国民としての自覚と資質を養う。

高等学校地理歴史科「地理基礎」「歴史基礎」実施報告書  
(神戸大学附属中等教育学校, 2016)

・ 「地理基礎」



「歴史基礎」について

## 「歴史基礎」の育成すべき資質・能力

ア 歴史的な見方や考え方

イ 歴史的な態度と価値観

ウ 歴史的技能

エ 歴史に関する基本的知識・概念



・ 「地理基礎」  
「歴史基礎」について

## 「歴史基礎」の学習内容

### (1) 世界の一体化と日本

- ア 諸地域世界の接触と交流
- イ 近代国家の成立
- ウ アジアの近代と帝国主義

### (2) グローバル化した世界と日本

- ア 現代の始まりと二つの世界大戦
- イ 冷戦と第三世界
- ウ グローバル化と情報革命

# 「地理基礎」

# 「歴史基礎」について



主題学習		調査・発表活動，歴史観的考察	
世界の一体化と日本	ア 諸地域世界の接触と交流	異なる地域世界が接触・交流した時 どのようなことが生じたのか？	世界の一体化 世界商品
	異なる地域社会の接触・交流がもたらした 「メリットとデメリット」とは？	マテオリッチと 坤輿万国全図  軍事革命と宣教師  世界商品の時代  経済発展の明・清 帝国	鎖国と海禁  世界商品と日本  灘五郷の成立  調査 地域社会の接触・ 交流
	イ 近代国家の成立	国民国家はいつ誕生し，どのような特色を持ち， 影響を与えたのだろうか？	国民国家
	どうして，いつ国民国家になったのか？	国民国家とは  環大西洋革命  ナポレオン戦争と ドイツ  対立か協調か？	国民国家と植民地  国民国家と民族問題  移民の時代  調査 国民国家
ウ アジアの近代と帝国主義	アジアの諸国は，どのように近代を迎えた のか？	アジアの近代 帝国主義	
大日本主義と小日本主義の相違点は？	外国から見た 明治維新 アヘン戦争と 自由貿易  清朝と朝鮮の改革  東アジアの中の 日清戦争	世界史の中の 日露戦争 東洋のマンチェス ター 神戸港とボンベイ 航路  調査 大日本主義と小日本 主義	

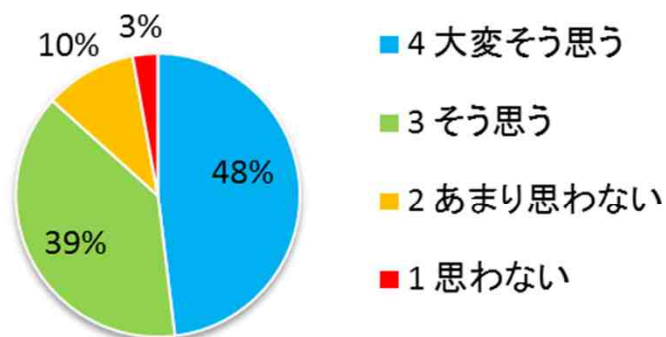
# 生徒参加型授業についての調査から



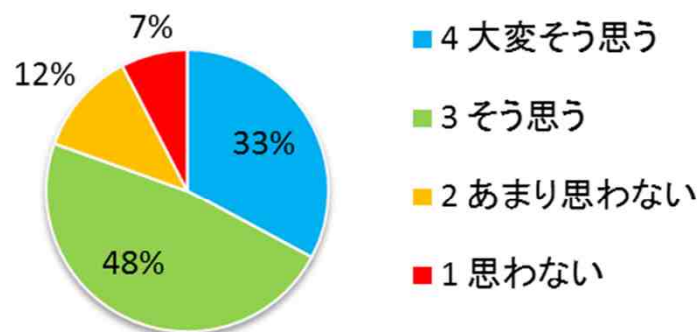
Kobe University  
secondary

## 平成27年度 6学年(高3)

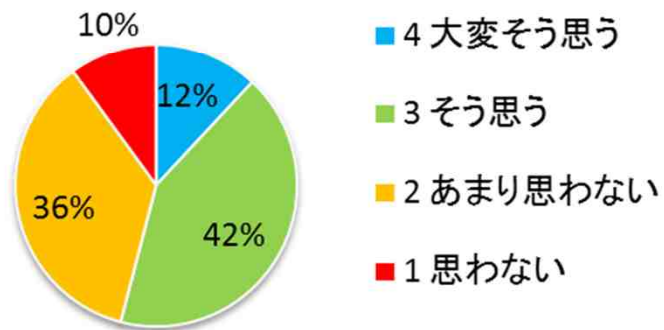
4学年の授業は生徒参加型であったか？  
地理



4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？地理



4学年の授業は生徒参加型であったか？  
歴史



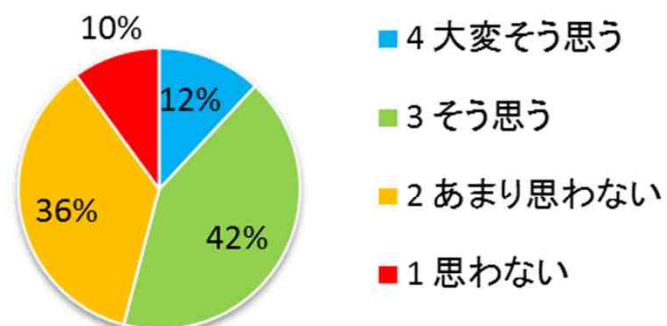
4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？歴史



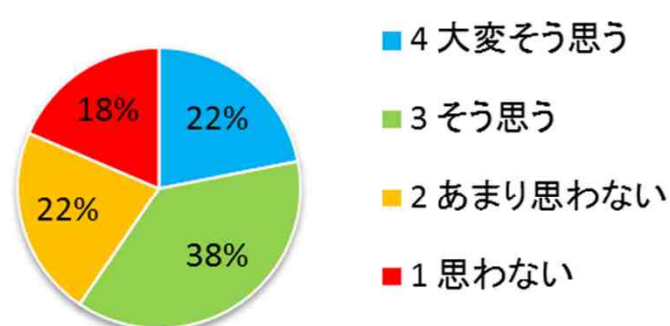
# 生徒参加型授業についての調査から

## 平成27年度 6学年 と 平成26年度 6学年

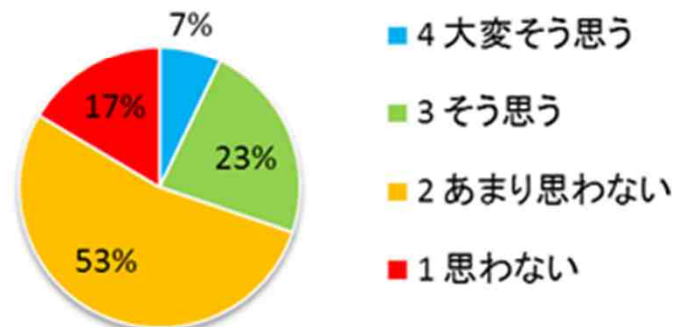
4学年の授業は生徒参加型であったか？  
歴史



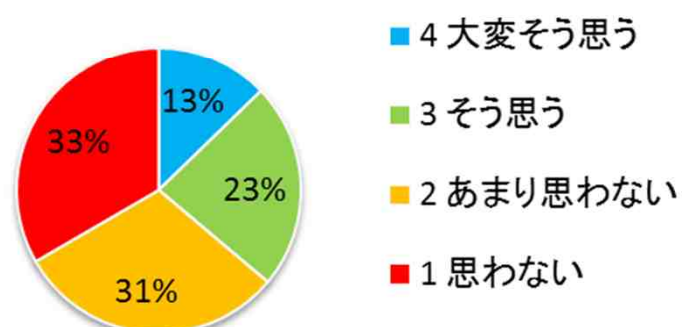
4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？ 歴史



4学年の授業は生徒参加型であったか？  
歴史



4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？ 歴史



# テキスト マイニング分析から

## 「地理基礎」

名詞			動詞			形容詞					
中学地理		地理基礎	中学地理		地理基礎	中学地理		地理基礎			
世界	35	授業	52	覚える	59	できる	76	楽しい	33	面白い	36
授業	32	地域	44	できる	43	思う	45	面白い	26	楽しい	34
日本	28	世界	39	学ぶ	22	わかる	43	多い	22	様々	26
気候	21	理解	30	知る	20	知る	43	好き	10	多い	19
地理	19	興味	30	思う	19	学ぶ	41	苦手	9	深い	16
興味	17	地理	26	わかる	18	考える	20	大変	9	いろいろ	12
国	15	自分	15	考える	13	感じる	19	良い	7	良い	7
理解	15	知識	15	言う	6	持つ	18	いろいろ	6	詳しい	6
文化	11	気候	14	学べる	5	見る	17	詳しい	6	大切	6
暗記	10	内容	13	感じる	5	違う	12	深い	6	難しい	4
自分	10	資料	12	見る	5	覚える	11	身近	4	苦手	4
学習	9	学習	10	行く	5	持てる	11	少ない	4	大変	4
集団	8	文化	10	持つ	5	受ける	11	普通	3	好き	3
地域	8	暗記	8	行う	4	学べる	10	興味深い	3	必要	3
地形	8	視点	8	持てる	4	使う	6	広い	3	普通	3
特徴	8	地図	8	受ける	4	つながる	5				
名前	8	つながり	7			起こる	5				
歴史	8	特色	7			生きる	5				
		特徴	7								

「言葉を学ぶというよりは、その言葉の知識を使い、今どのような課題に立ち向かっているのか、どのような成果を上げてきたのかを考えながら学ぶ感覚でとても刺激がある。」

・生徒参加型授業に  
ついて



## 生徒参加型授業の導入

生徒参加型の授業は  
学習活動の1つのスタイル

授業の目的は生徒参加ではない

・生徒参加型授業に  
ついて



## 生徒参加型授業の導入

**目標**

**問い 単元を貫く大きな問い**

**本時を貫く大きな問い**

**本時の各問い(発問)**

**学習活動(学習システム・スタイル)**

**→生徒参加型の授業の場合も**



「地理基礎」 単元構成図

主題学習		ロジカルアプローチ・リージョナルアプローチ	
地球社会が直面する課題	ア 地球温暖化の現状と対策	ESD・GIS	中心概念 位置と分布, 場所
	地球環境問題 地球温暖化 地球温暖化の現状はどのようになっているのだろうか	ロジカル	地図と地理情報システム(GIS)の活用 地球社会はどのように表現されているのだろうか プレートテクトニクスと大地形 なぜ地球は現在のような姿になったのだろうか 大気の大循環と海洋の大循環 気候の違いはなぜ生まれるのだろうか
	イ 熱帯林の破壊が進んでいる地域の人間の活動	ESD	中心概念 人間と自然環境との相互依存関係
地球環境問題 熱帯林の破壊 熱帯林などの森林の破壊はなぜ進んでいるのだろうか	リージョナル	熱帯林の分布 熱帯雨林はどこに分布するのだろうか 熱帯林の開発～東南アジアを事例に～ なぜ東南アジア諸国で主に信仰されている宗教は違うのだろうか 熱帯林の開発～ブラジルを事例に～ 南アメリカの地域性はどのように生まれたのだろうか なぜブラジルは発展することができたのだろうか	
ウ 砂漠化の進行している地域の人間の活動	ESD	中心概念 人間と自然環境との相互依存関係	
地球環境問題 砂漠化の進行 砂漠化はなぜ進んでいるのだろうか	ロジカル	砂漠の分布 砂漠はどこに分布するのだろうか	
エネルギー問題 限りある資源・エネルギー 資源の枯渇に対してどのような対策が取られているのだろうか	リージョナル	砂漠での生活と開発～西・中央アジアを事例に～ 西・中央アジアの地域性はどのように生まれたのだろうか 石油収入以外にどのような産業があるのだろうか エネルギー資源の開発～オーストラリアを事例に～ オーストラリアから日本へ運ばれているものは資源だけだろうか	
持続可能な世界の構築	ア 現地化(ローカル化)の視点とグローバル化	グローバル化	中心概念 移動・空間的相互依存作用
	グローバル化 現地化(ローカル化) 日本は世界の諸地域にどのように現地化すれば良いのだろうか	リージョナル	日本の現地化(ローカル化)～南アジアとアフリカを比較して～ 南アジアの地域性はどのように生まれたのだろうか 日本の現地化(ローカル化)～アフリカと南アジアを比較して～ 日系企業はなぜアフリカに進出するのだろうか
	グローバル化 現地化(ローカル化) 世界の企業は日本にどのように現地化しているのだろうか。	ロジカル	北アメリカの自然環境～産業と自然環境の結びつきとは～ 人々はどのように厳しい気候を克服したのだろうか 日本への現地化(ローカル化)～多国籍企業の世界進出から～ アメリカ合衆国の産業は自然環境とどのように結びついているだろうか
イ 地域共同体と持続可能な社会の実現	グローバル化	中心概念 地域	
グローバル化 地域共同体 日本はどの地域と地域共同体をつくれれば良いのだろうか	ロジカル	ユーラシア大陸の自然環境～日本とヨーロッパの比較のために～ ユーラシア大陸の東側と西側はなぜ気候が異なるのだろうか	
リージョナル	日本のこれからと地域共同体～EUの広がり事例として～ ヨーロッパの地域差はどのようにもたらされたのだろうか なぜ日系企業は東ヨーロッパへ進出したのだろうか		
ナ	日本のこれからと地域共同体～日本と東アジアを事例として～ 日本の領域はどこまでだろうか		
ウ 防災の視点と持続可能な世界の構築	防災・ESD	中心概念 人間と自然環境との相互依存関係	
持続可能な世界の構築 災害への備え・対策	リージョナル	日本の自然災害～身近な地域を事例として～ 日本の自然環境の特徴から起きる災害にどのように備えれば良いのだろうか	
リージョナル	世界の自然災害～自然環境と自然災害の関係から～ 世界の自然災害に対してどのように支援すれば良いのだろうか		
ナ	身近な地域の自然環境と防災 身近な地域ではどのような自然災害の可能性が高くどのように備えれば良いのだろうか		



# 「歴史基礎」 単元構成図

	主題学習		調査・発表活動，歴史観的考察
世界の一体化と日本	ア 諸地域世界の接触と交流	異なる地域世界が接触・交流した時 どのようなことが生じたのか？	世界の一体化 世界商品
	異なる地域社会の接触・交流がもたらした 「メリットとデメリット」とは？	⇔	マテオリッチと 坤輿万国全図  鎖国と海禁  軍事革命と宣教師 世界商品と日本  世界商品の時代 瀬五郷の成立  経済発展の明・清 帝国 調査 地域社会の接触・ 交流
	イ 近代国家の成立	国民国家はいつ誕生し，どのような特色を持ち， 影響を与えたのだろうか？	国民国家
	どうして，いつ国民国家になったのか？	⇔	国民国家とは 国民国家と植民地  環大西洋革命 国民国家と民族問題  ナポレオン戦争と ドイツ 移民の時代  対立か協調か？ 調査 国民国家
	ウ アジアの近代と帝国主義	アジアの諸国は，どのように近代を迎えた のか？	アジアの近代 帝国主義
	大日本主義と小日本主義の相違点は？	⇔	外国から見た 明治維新 世界史の中の 日露戦争  アヘン戦争と 自由貿易 東洋のマンチェス ター  清朝と朝鮮の改革 神戸港とボンベイ 航路  東アジアの中の 日清戦争 調査 大日本主義と小日本 主義
グローバル化した世界と日本	ア 現代の始まりと二つの世界大戦	20世紀前半，二つの世界大戦はなぜ 起こり，世界をどう変えたのか？	世界大戦 民族自決
	日本が戦争を回避できる時点は あったのか？	⇔	戦争の変化 全体主義の台頭  総力戦としての 第一次大戦 日中15年戦争の開始  ロシア革命と ヴェルサイユ会議 アジア・太平洋戦争  消費社会と民主主義 調査 日本の戦争回避
	イ 冷戦と第三世界	脱植民地化の動きと冷戦は，戦後世界にどのような 変化をもたらしたのだろうか？	東西冷戦 脱植民地化
	戦後のオリンピックと国際問題との 関係は？	⇔	独立リーダーの群像 日本の戦後復興  東西冷戦と中国・ 朝鮮 日本の加盟と高度 成長  アジア・アフリカ 諸国の独立 分断国家のその後  日本の戦後講和 調査 戦後のオリンピック
	ウ グローバル化と情報革命	20世紀末以降，国際政治の役割は どのように変わったのか？	地球の安全保障 人間の安全保障
	持続可能な社会のために何が必要か？	⇔	地球と人間の安全 保障 地域紛争  ソ連解体と 超大国アメリカ 情報革命とグローバ ル化  地域統合 調査 ポスト「ミレニアム 開発目標」